

(別紙様式)

令和4年4月7日

徳島大学長 殿

歯学部長
馬場 麻人

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	4,000 千円	4,000 千円	0 千円

【実施状況】

本学部に予算措置されたインセンティブ経費 4,000 千円については、学生や教員の教育研究の推進のために活用した。

学生の教育環境の整備として、講義室の椅子ならびに臨床実習のチュートリアルや共用試験で使用するためのノート PC の更新を行った。

また、研究環境の整備として歯学部総合研究室に生菌数測定用定量塗抹装置を新たに導入した。

【成果・効果】

学生の教育環境の整備を行ったことで、より良い環境で講義を受講できるようになり、臨床実習や共用試験をより滞りなく実施できるようになった。

また、研究環境の整備として共用設備である総合研究室の機器の追加を行ったことで、歯学部の学生・教職員の研究活動の推進を図ることができた。

(別紙様式)

令和4年4月27日

徳島大学長 殿

薬学部長
土屋 浩一郎

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	3,000 千円	3,000 千円	0 円

【実施状況】

本学部に予算措置されたインセンティブ経費については、教員及び学生の教育・研究環境の維持のため、薬学部中央機器室設置機器の修理とパーツの更新に使用した。

【成果・効果】

薬学部中央機器室は学生の卒論研究や教員の研究活動に多く利用されているが、設置機器の老朽化が進んでいた。

今回の予算措置によって一部の機器の修理とパーツの更新を行うことができ、教育・研究活動の質の低下を防ぐことができた。また、利便性が向上し、使用頻度の向上も期待できる。

令和4年4月4日

徳島大学長 殿

生物資源産業学部長
松 木 均

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	3,000千円	3,000千円	0千円

【実施状況】

本学部にとって必要性の高い事業へ充当することとして募集を行い、2件を採択し実施した。

(1) 植物育成環境調査の実施

植物育成環境調査を充実させるため、解析用パソコン式、フィールド調査用器具、DNA分析用試薬類を購入した。

(2) FACSVerse フローサイトメーターのメンテナンス

FACSVerse フローサイトメーターのレーザー交換などのメンテナンスを実施した。

【成果・効果】

(1) 植物育成環境調査を充実させることができた結果、研究活動等が順調に進捗し、学会発表などの成果に結実した。

(2) メンテナンスにより、生物資源産業学部に所属する教職員や学生のみならず、広く常三島地区の教職員や学生への継続的な研究環境の提供が可能となった。

(別紙様式)

令和4年 3月28日

徳島大学長 殿

先端酵素学研究所長
片 桐 豊 雅

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	2,500千円	2,500千円	0千円

【実施状況】

先端酵素学研究所では情報ネットワーク環境の老朽化が進んでおり、特に、喫緊の課題であった藤井節郎記念医科学センターの情報ネットワーク環境整備を行うため、本経費により優先度の高いルーター、スイッチ及び認証機器などを購入した。

【成果・効果】

本整備により、セキュリティを強化した上で利用者の利便性向上と安定的な運用が可能となったことで、研究所内の研究環境の改善、さらには研究成果の創出につながることを期待される。

令和4年3月2日

徳島大学長 殿

大学院社会産業理工学研究部長
橋 爪 正 樹

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,500 千円	1,500 千円	0 千円

【実施状況】

本研究部に予算措置されたインセンティブ経費について、経費を有効かつ効率的に使用するため、別途予算措置された研究部長裁量経費を合わせて財源とし、研究機器の共用利用促進、研究活動の活性化、社会貢献、分野融合の更なる推進を目的として、共用性の高い研究機器に対する修理費等や、その他研究部として必要性が高い事業へ充当することとし、3学域の教職員に文系・理系を問わず事業の募集を行った。

採択した事業において、P2 遺伝子組換え実験等による研究推進を目的として、安全キャビネットを購入した。

【成果・効果】

今回のインセンティブ経費及び研究部長裁量経費の予算措置により、共用性の高い研究機器・施設のメンテナンス・改修を実施したことで、運用効率が向上、研究の停滞を防ぐことができ、当初の目的であった研究機器の共用利用促進等の更なる推進を図ることが可能となった。

さらに、研究部において必要性が高いと認められた事業に対して装置の修繕費や維持管理費を支出でき、教育研究機能の更なる向上を図ることができた。

令和4年4月18日

徳島大学長 殿

大学院医歯薬学研究部長
赤池 雅史

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,000 千円	1,000 千円	0 千円

【実施状況】

大学院医歯薬研究部で共同利用している医学臨床B棟の棟基幹スイッチの、メーカーのサポート期限が終了し保守契約が延長出来ないため、新規に基幹ネットワーク機器を2台購入した。

【成果・効果】

機器を新規購入したことにより新たな保守契約を締結でき、有事の際にネットワークが長期停止するなどのリスクを回避する環境を整備することができた。また、導入後は、学会等で大容量通信が発生しても、問題等が生じることなく安定して稼働している。

(別紙様式)

令和4年4月28日

徳島大学長 殿

環境防災研究センター長
上月 康 則

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,500 千円	1,500 千円	0 千円

【実施状況】

環境防災研究センターでは、地域防災と環境保全の取り組みを推進するために、現地の調査研究を活発に行っている。この時に、洪水や津波の浸水深さの測定や生物の生息場所の物理環境を測定するための GPS (Global Positioning System、全地球測位システム) は必要不可欠な測量機器であるが、センターで保有している機器は老朽化が進んでいた。

そこで、研究を遅滞なく進めるために本経費を活用し、最新の GPS 機器 (「ネットワーク型 RTK-GPS 測位 (VRS 方式) システム、G6J Net RTK (VRS) セット) を購入することとした。

【成果・効果】

購入後、GPS 機器は、早速佐賀県での洪水浸水深、南海地震の遡上位置、また海浜での希少生物の物理環境の計測などに活用され、貴重なデータを収集することができている。

(別紙様式)

令和4年4月26日

徳島大学長 殿

バイオイノベーション研究所長
音井 威重

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,000 千円	1,000 千円	0 千円

【実施状況】

バイオイノベーション研究所の研究活動の充実のため、研究データの整理や論文執筆等に使用するパソコンを購入した。

【成果・効果】

パソコンの購入により研究環境を整備したことで、よりスムーズに研究データの整理や論文執筆等ができるようになるなど、バイオイノベーション研究所の研究活動を推進することができた。

令和4年5月9日

徳島大学長 殿

情報センター長
松浦 健二

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	500千円	500千円	0千円

【実施状況】

情報漏えい防止の観点からハードディスクを物理的に破壊する必要があるためハードディスク破壊機（1式）を導入し、情報センター3階に設置した。

【成果・効果】

近年、地方自治体において消去請負業者によるハードディスク転売事件等が発生しており、請負業者に依頼する場合にも職員が立ち会いの元でハードディスクの物理破碎をさせたり、破壊機の導入等の対策が進んでいる。そこで、教職員自ら物理的に破壊することができ、データ消去を確実にこなうことができるハードディスク破壊機の導入をおこなった。

今までにもハンマーで叩くといった対策はおこなっていたが、破碎作業に危険が伴い時間も要していた。しかし、導入したハードディスク破壊機を使用しHDD内部のプラッタやSSD内部のメモリと呼ばれるデータの記憶領域を適切に破壊することで短時間に処理が出来、データの読み出しを確実に不能とすることが出来た。

破壊手順については単純であり、誰でも使用可能であるため、情報センターのみならず必要な部局等あれば利用してもらい、有効活用を行うことが出来る。

令和4年4月28日

徳島大学長 殿

研究支援・産官学連携センター長
馬場 良 泰

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	500千円	500千円	0千円

【実施状況】

研究支援・産官学連携センターは、大学機能の強化に向けた取り組み、学内融合研究の促進、研究環境の整備を支援し、大学の研究成果を社会に還元する手段として、共同研究プロジェクトおよび産官学連携活動を積極的に推進している。

令和3年10月には、大学発の創薬シーズを育成し、企業との共同研究や大学帰属の特許化を可能とする実証実験を行う実働組織である創薬インキュベーションチームを設立した。その際に、当チームが創薬シーズの実証研究を行うための機器や試薬等の消耗品を購入し、業務を行う環境を整備した。

【成果・効果】

購入した機器等により、令和3年度末までに4件の創薬シーズの実証研究の支援業務を実施した。当チームの支援業務は、企業との共同研究や大学帰属の特許化に繋がると考えられ、今後大きな成果や効果が期待できる。

令和4年4月21日

徳島大学長 殿

AWAサポートセンター長
坂 東 良 美

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	500千円	500千円	0千円

【実施状況】

1. 蔵本地区女性職員休憩室 Rococo の環境整備を行った。
 - ①老朽化したマッサージ機1台を最新式に取り換えた。
 - ②最新式の空気清浄機 Airdog を2台設置した。
 - ③最新式の加湿器 Locidool を設置した。
2. 常三島地区女性職員休憩室 RococoⅡ の環境整備を行った。
 - ・最新式の空気清浄機 Airdog を1台設置した。

【成果・効果】

衛生面の機器を充実させて、蔵本地区女性職員休憩室及び常三島地区女性職員休憩室の利用者に、より健康的に安心して利用してもらえる環境が整った。

令和 4 年 4 月 11 日

徳島大学長 殿

先端研究推進センター長
堀 川 一 樹

令和 3 年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	500 千円	500 千円	0 千円

【実施状況】

本センターに予算措置されたインセンティブ経費については、教員や学生の研究活動のための共同利用施設における、新型コロナウイルス感染症対策として、以下の通り執行を行った。

- ・ 体温検知カメラ一式の設置
- ・ 非接触式自動手指消毒機の設置
- ・ 便座消毒用ディスペンサー一式の設置

【成果・効果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、動物資源研究部門動物実験施設において、1) 玄関に体温測定とマスク着用を短時間で検出する体温検知カメラ(図 1)、2) 更衣室等の施設内の 5 箇所に自動手指消毒機、3) 男女トイレに便座消毒用ディスペンサーを設置した。

この措置により、日平均 100 名以上の学生・教員が利用する動物実験施設において、発熱者の検知や消毒用品による除菌等の新型コロナウイルス感染症防止対策の強化を図ることができた。



図 1 体温検知カメラ

令和4年3月31日

徳島大学長 殿

産業院長
森 松 文 毅

令和3年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	500千円	500千円	0千円

【実施状況】

大学産業院では、起業意識・ビジネスマインドをもった学生教育等行うため、教養教育院、一般社団法人徳島イノベーションベース等と連携して、アントレプレナーシップ教育に取り組んでおり、「起業を知ろう」、「次世代事業創造入門」、「テクノロジーとビジネス」の講義を開講し、任意参加プログラムとして「次世代事業創造実践」を開催している。

また、学生の起業支援のため、スタートアップスタジオ「U-tera」をベンチャービジネス育成研究室に設置し、起業を目指す学生を学内外の産業院教員が支援している。

令和3年度のインセンティブ経費は、本取り組みを本学の学生や地域に周知・発信し、さらなる発展をはかるため広報用の動画作成やHPの改修のために使用した。また、相談会や製品の試作を行う場所として「U-tera」の居室整備に使用した。

【成果・効果】

U-teraの居室整備により、相談会や所属学生とのディスカッション、製品の試作をより効果的に実施することができた。

本取組の成果としては、U-teraで支援する学生が起業した会社が令和3年11月に徳島大学発ベンチャーに認定された。

また、支援する学生が事業化に向けクラウドファンディングに挑戦し、目標金額を達成した。

さらに、支援する学生がビジネスプランコンテスト等に参加し、キャンパスベンチャーグランプリ学生ビジネスプランコンテストにおいて、「四国経済産業局長賞」を受賞する等4件の賞を受賞した。

今回作成した動画やHPを活用し、次年度に向け広報活動を実施し、本取組のさらなる発展を目指す予定である。

(別紙様式)

令和 4 年 3 月 9 日

徳島大学長 殿

病院長

香 美 祥 二

令和 3 年度インセンティブ経費活用状況報告書

予算執行状況	予算額	執行額	差引額
	1,000 千円	1,000 千円	0 千円

【実施状況】

病院運営会議において委員が資料閲覧等に使用する iPad が、購入から約 10 年が経過し機能面での劣化や故障等が発生するなど、会議の運営に支障を来しかねない状態であったため、新規購入し機能面の充実や問題点の解消を図った。

【成果・効果】

ipad を新規購入したことで、よりスムーズな会議運営が可能になるとともに、現在の主な用途である病院運営会議以外の会議等にも用途を広げることが可能となり、利便性の向上やペーパーレス化等にも寄与することができる。